

平成29年度の働くパパママ応援企業の認定を受けました。

授与式の様子といただいた認定証です。



福原市長が8事業所の代表に認定証を交付
(大館市総合福祉センター)

働くパパママ応援企業

新たに8事業所認定

大館市 4年間で計27事業所に

従業員の仕事と子育ての両立支援に力を入れる事業所を、対象とした大館市の「働くパパママ応援企業認定制度」の認定証授与式が8日、市総合福祉センターで開かれた。4年目の本年度は8事業所を新たに認定し、計27事業所となった。

認定を受けたのは、▽エヌビーツ（花岡町、秋本専社長）▽東光鉄工（釈迦内、虻川東雄社長）▽フレックス（花岡町、野村幸三社長）▽布袋屋薬局（大町、布袋屋隆満社長）▽タクト（御成町、佐藤孝社長）▽あきた北農業協同組合（根下戸新町、仲澤修組合長）▽日本政策金融公庫大館支店（御成町、本橋浩一 支店長）▽北都銀行大館支店（大町、木藤康嗣支店長）。

それぞれ、子どもの看護休

暇や短時間勤務制度、男性の育児休暇取得などを推進。「フリー残業」やフレミアウライターの実施など、働

き方改革を通して子育てを支援する事業所もある。このうち、フレックスは本年度、独自に子ども手当を支給する制度を創設。対象は大学卒業まで、担当者は「子育て中の従業員から非常に助かるという声がかかる」と話す。

式では福原淳嗣市長が代表者に認定証を手渡し、「子育てしやすいまち大館の実現のため、今後とも協力してほしい」と述べた。記念品としてベビーマットと認定マークが贈られた。

制度は26年度に創設。「短時間勤務制度」など認定基準項目についても当時はまれば申請できる。26年度は13事業所、27、28年度は各3事業所を認定。子ども課では引き続き申請を受け付ける。

